

# うちゅうせん新聞

広報係 09年6月20日発行 1号

仙台市天文ボランティア会報

## “うちゅうせん”全体会 [2008年度締めくり]

**観望会が多く、依頼観望会 34 回実施！過去最高  
3月14日(土)14:00～17:00 参加者 16名**

榴ヶ岡にあるみやぎ NPO プラザにおいて平成 20 年度の全体会が開催されました。今年より出欠及び議題などの連絡はメールリストを使用し、従来の全員郵送は行わないことで準備および経費の節減が図られました。

冒頭に永井船長より退会する出席者に対しねぎらいの言葉があり、養成講座がなくなり新乗組員の予定が無い中で興味のある方を誘っていきましょうとの挨拶のあと、議事が進められました。

全体会は年度(特に予算)の承認、区切りとしての位置付け、決議事項については例会で承認する(代表者決定事項の追認を含む)ことが確認されました。

交通費補助金の変更、新作星座物語のタイトル確定とお披露目などが行われました。

係については観望研修係から研修係への変更理由:観望会はリーダーとなった人が中心となり進めるため全員が観望係であるため。

提案された議題について、1件ずつ議事を進め、当初の時間を延長するほどの意見が出されました。結論を保留した件については今後の例会で話し合われます。(詳細はメールリストで連絡済みのため割愛)(メールリストに登録されていない方に対しては「うちゅうせん新聞(3/14 全体会特集 4号)」に同封して広報係より郵送しました。)



20年度は、東松島教育委員会(平日6回)およびラフォーレ蔵王、えぼしスキー場の各3回などシリーズ開催により回数が多くなりました。限られた参加条件の中複数回協力された皆さんお疲れ様でした。

いよいよ7月22日の皆既日食も間近に迫り、海外へ行く人・国内で見ると、思いはそれぞれですね。万全の準備で臨まれ、素晴らしいレポート&エピソードを期待しております!(編集部一同)

**例会より** 場所:天文台研修室

**4月18日(土)14:00～16:00 出席者8名**

西公園の天文台に保管していたうちゅうせんの備品を天文台の駐車場で仕分けを行い、必要なものを天文台に保管しました。須藤さん、長い間保管頂き、ありがとうございました。

星座物語の試写会を行いました。物語の後半に近藤さんが付け加えた北極星、おおくま座、カシオペア座の画像と説明などがありました。

【主な議事内容】

- ・全体会の残りの議題
- ・小望遠鏡の取扱い:観望会等で今後検討していく。
- ・HPの質問コーナー:対応が難しいので、設置しない。

**5月23日(土)14:00～15:40 出席者7名**

今後の活動予定については、6月の泉環境まつりの進め方と、8/1岩沼モンタナリゾートでのコンサート&観望会の依頼についての話し合いが中心でした。

8月のスターウィークは国際天文年の年間活動として登録済みとの説明が船長からありました。

秋以降については昨年に引き続きのえぼしスキー場の毎週末開催についての体制。

星まつりについては、市民広場が使えず場所を変えて実施した結果から今後への意見交換を実施しました。結論としては、自主イベントは強力なリーダーシップを取れる人の企画と働きかけが必要とのこと。

昨年までは合宿、芋煮会等と続けてこられたのも同様と思います。多様で活気ある活動のため企画リーダーになる方、誰かいませんか?

【主な決定事項】

6/6(土)泉環境まつり(区役所前広場)10:00～15:00

事前に参加確認をとりません。来た人は説明員になって下さい。同好会協力者2名予定。

7/29(土)泉中央市民センター観望会より実質的に開始。

例会時間変更 8/29,12/26の回は12時より開始

天文台の都合により2時間繰り上げます。

## 観望会より

**海岸公園冒険広場観望会 3月28日(土)18:30～20:00(うちゅうせん3名、参加者43名)**

今回は仙台市天文台とのコラボでの開催。ただし殆どをベガ号におまかせしてしまいました。

いつもの場所ではなく、公園奥の高台の開けたところにベガと望遠鏡5台を設置しているうちに、いつの間にかお客さんが、なんと設置している間に受け付けを済まして、そのまま観望場所へ。実際の星空で星座説明し、あとは観望です。

快晴に近い星空で、土星・アルクトゥルス・シリウス・オリオン星雲・すばるなどを観望していただきました。閉会10分前に側のリーダーハウスで質問に答え、参加賞のシールをお渡ししての解散となりました。

天文台からは運転手の方を入れて3名とアルバイト2名の方が来て頂きました。うちゅうせんからは3名、合計8名のスタッフで、豪華版の観望会でした。皆様お疲れ様でした。

**水の森観望会 4月2日(木)19:00～20:00(うちゅうせん2名、参加者11名)**

天候に恵まれ、19時の開始前から観望を開始しました。月、土星、すばるなどを観望した後、室内に移動。内容は次の通り

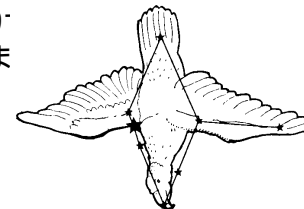
船長・・・世界天文年の説明、土星の輪の見え方、7月の日食の説明、トルコの日食のライド上映

石・・・今月の星空の説明

船長・・・質問コーナー

子どもには天文シール、大人にはオーロラや月の写真を参加賞として渡して、再び観望会へ移動。北斗七星、オリオン座、冬の三角などを説明し、自然解散としました。水の森のキャンプ場が4月1日からオープンし、通りぞいで、感動していました。

短い時間でしたが、あまり寒くなく観望できました。



わし座

**亘理町図書館(悠里館)観望会 4月4日(土)18:30～20:00(うちゅうせん6名、参加者20名)**

残念ながら小雨の為、参加者は56人の申し込みがあったそうですが20人になってしまいました。でも、悪天でも参加された皆さんは最後まで熱心でした。全員の自己紹介の後、今年天文現象(土星の環・7月の日食)の説明・今月の星空の説明(石)。星座物語は2本立てで、本邦初公開の「迷子になったインディアン」と「オリオンとさそり」(西)。その後星座ビンゴで楽しんで貰いました。景品は天体写真で10名まで。ビンゴでは(西)さんに同行して来た娘さんが手伝ってくれました。すっかり大きくなって背丈は間もなくお母さんを追い越す勢いです。4年目の亘理図書館は今回が9回目になるそうですが、今夜の20名は初参加の方ばかりでしたので、地球儀を使つての若田さんが滞在している国際宇宙ステーションや月の話をしました。

その後、齋藤さんが準備してくれた4cm15倍の手作り望遠鏡を三脚にセットしたもの3組で、壁に貼った月面図を覗いて貰いました。子供も大人も盛り上がっていました。

最後の20分は質問コーナー。遠慮があったのか最初は質問が出ませんでした。出始めるとどんどん出てきます。予定時刻ピッタリの20時に終了と



## イベントより

**全体会後の打上げ3/14(18:00～)参加人数12名**

毎年恒例、全体会終了後の打上げは、強風、小雪の舞う中、会場「SSサーティ30階、ステッカー・サーティー」に徒歩または自転車で向かいました。

退会・休会される方も出席し、仙台市街夜景を一望できるレストランで、美味しい料理、お酒を頂きながら、平成20年度のうちゅうせん活動の話に花が咲きました。あっという間に時間が過ぎ積もる話の続きは別の場所と、大半の方は駅前方面に移動しました。



三 星・の・見・聞・録 三

仙台の皆さま、お元気ですか?佐藤(友)です。今年の春から「兵庫県立西はりま天文台公園」の研究员になりました。

兵庫県は、仙台からすごく遠いですよね。「西はりま天文台」はどんな天文台なんだろう?とお思いになる方もいらっしゃると思います。そこで、私が勤めている天文台を皆さんにご紹介したいと思います。

まず、場所は、兵庫県佐用郡佐用町(さようぐん、さようまち)というところにあります。鳥取県や岡山県との県境です。宮城県の地図で例えると花山村のような場所にある、といったらイメージしやすいでしょうか?その佐用町の標高 435m の大撫山(おおなでさん)山頂に「西はりま天文台」はあり、「西はりま天文台」からは、波の様な形の中国山地のなだらかな山並みが望めます。

ところで、敷地内には、1990年にオープンした60cmの反射望遠鏡のある北館(茶色の建物)と2003年にオープンした2mの「なゆた望遠鏡」を搭載している南館(白い建物)の天文台施設2棟と宿泊のお客様貸し出し用の望遠鏡ドーム4棟、太陽観測用望遠鏡&アンテナ群、100名収容の宿泊施設(グループ棟)と家族用ロッジ(定員5名×6室)、宿泊施設を管理している管理棟、アスレチック、花壇、食堂&喫茶店、ミュージアムショップ等があります。

ちなみに職員は、名誉顧問の森本さん、園長の黒田さん、天文台長の他に私を含めて研究员が8人おりました。施設内の案内や、観望会の解説、広報誌の執筆&編集、「キラキラch」という天文番組の出演&制作、小中学校への出前授業&観望会etc...天文教育普及の仕事と研究员ですからそれぞれの専門の研究をしています。

「西はりま天文台」といえば、なんととっても公開天文台の望遠鏡としては世界最大の目を持つ「なゆた望遠鏡」でしょうか。

そして、お客様が「なゆた望遠鏡」を自由に見学できるように天文台開館時間中ずっと、惜しげもなく鍵を開けて望遠鏡のドーム内を開放しているところが、なんとも粋だなぁと思います。(仙台ではありえませんか?)

それから、「なゆた望遠鏡」の観望会は毎日19:30から21:00まで開催しています。平日は宿泊しているお客様限定ですが、土曜日は、事前予約で先着100名様まで、日曜日は予約なしで「なゆた望遠鏡」の観望会に参加できます。私も着任して早々に観望会の解説デビューをしました。(1回あたり1時間半の長丁場です。)現在の観望会の目玉は、なんと行っても輪の細くなった「土星」ですね。

こちらは関西ということもあり、「たこ焼きにつま楊枝が刺さったように見えますよー」とご案内するのですが、ほんとうに2mの鏡の威力はすごくて、今まで見てきたものの中で一番クリアーです。シーイングがいい晩には、細くなった土星の輪の影まで見えます。

仙台から兵庫県はとても遠いですが、機会がありましたら、ぜひお越しください。実際に「なゆた望遠鏡」で天体を観ていただけたら、そのすごさ実感できると思いますよ。

詳しくはこちらを西はりま天文台公園のホームページ：<http://www.nhao.go.jp/>



7月の天文現象

7/4	アタス(さそり座)の星食
7/10	海王星と木星が再接近
7/14	水星が外合
7/22	日食(奄美方面は皆既)
7/28	みずがめ座 流星群極大
7/30	やぎ座 流星群が極大

8月の天文現象

8/11	土星の環が消失
8/13	ペルセウス座流星群が極大
8/15	木星が衝
8/17	はくちょう座流星群極大
8/18	海王星が衝
8/25	水星が東方最大離角

9月の天文現象

9/4	土星の環が消失
9/10	プレアデス星団の食
9/11	プレアデス星団の食
9/18	天王星が衝
9/20	水星が内合

伝言板の話題(うちゅうせんホムページ)より

(投稿者名:永井船長)

世界天文年に、年間を通しての依頼観望会を登録している事はご承知の通りですが、報告の都度ネット上で「世界天文年・参加証」が発行され、ダウンロードする仕組みになっています。

今まで3種類が発行されておりますので、並べてみました。個人で(一人でも)星見をした時も報告をすれば参加賞が発行されますので「めざせ1000万人!みんなで星を見よう」にぜひ参加して下さい。



編集後記

今年のゴールデンウィークは、エコブームと相反する高速道路の特別値下げにより高速道は車が集中し、かえって渋滞が大きくなっている様子。JRは例年より減少とか。CO<sub>2</sub>は絶対に増えているはずでは?大量消費国の経済は、静かに暮らすことでは保てないのでしょうか。私たちの星、地球が立っています。(辺)

夏至に向かってどんどん夜が短くなるこの6月。寒さはなくなりましたが、「星たち」とともに過ごす「ひととき」はどんどん少なくなり、さびしいかぎりです。それでも晴れた夜の感激を忘れずに、さらに「搭乗訓練」を積み重ねて考えております。観望の機会があればぜひ同行させて下さい!!(辺part2)

晴れた日が少ないこのごろですね。5月の例会は仕事で欠席、6月は山かな~?あの地震からもう1年になるのでですね。地球の自然な営みとはいえ、大変な地震でしたね。登山道はまだ復旧していないところが多く...。自然回復には良いかもしれないですね。(石)

新型インフルエンザの日本上陸により、身の周りでもマスクを常時着用する人が現れたり、消毒液を常備する等、少しずつ影響が現れています。うちゅうせんのメンバーや活動に行く地域内で感染者が現れないよう願っていますが、人の行き来がある以上、いつ現れてもおかしくないと言えるでしょう。万一身近で現れても冷静に対応するよう心掛けていきます。(今)

先日「天文検定」なる本を購入しました。皆様、問題です!  
問:この写真はいつの日食のときの写真であるか。次のうちから正しいものは?

- 1987年の沖縄日食
- 1991年のハワイ-メキシコ日食
- 1999年のヨーロッパ-西アジア日食
- 2006年のアフリカ-中近東日食

答え コロナは太陽の外気層で太陽磁場の影響を強く受けています。その形は時々刻々変化するので日食ごとに形が異なって見えます。概して極大期には全体に広がるように見え、極小期には赤道方向のみ広がる形に見えます。写真はほぼ極大期の1999年のヨーロッパ-西アジア日食のときのものです。

さて、正解しましたか?なかなか中身のある本ですよ。(伊)

